

# 薬用植物園だより

2023年

6月

高貴で優雅な色としての紫、花は白い！

## ムラサキ (ムラサキ科)

*Lithospermum erythrorhizon* Sieb. et Zucc.

部位	根
生薬名	紫根 (シコン) <b>局方収載</b>
成分	アセチルシコニンなど
薬理	創傷治癒促進作用、抗菌作用、 抗炎症作用
薬能	清熱涼血薬
漢方	紫雲膏、紫根牡蛎湯



北海道から九州、および朝鮮、中国、アムールに広く分布する多年草。その根（紫根）は、紫色の染料として知られ、冠位十二階においても最高位の色として珍重されてきました。万葉集の中でもよく詠まれており、身近な植物であったと思われます。しかし、現在では、自生する草原の減少で、各地で絶滅危惧種とされています。さらに、栽培も難しく量産することが困難です。生薬としては、華岡青洲が残した紫雲膏に配合されており、今でも外用の漢方薬としてよく使用されています。軽い火傷やあかぎれなどに効果があります。私は、靴擦れによく使っています。含有成分のシコニン類（色素成分）には、創傷治癒促進作用などが知られています。

## ウイキョウ (セリ科)

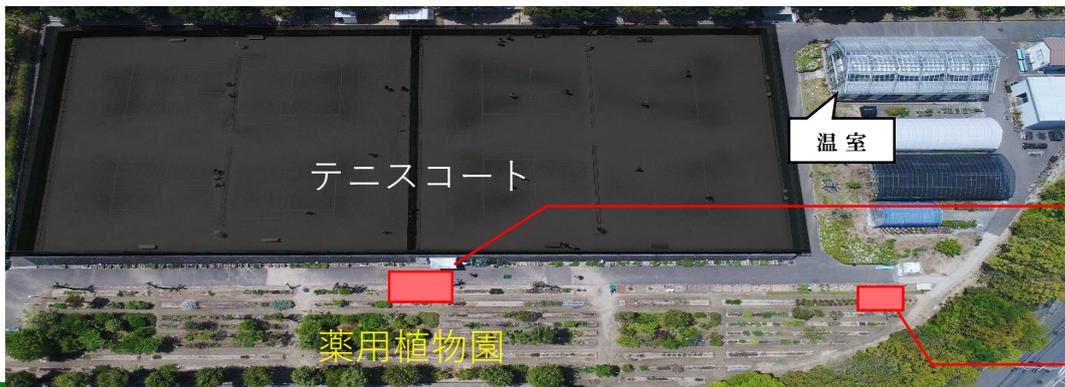
ヨーロッパのハーブも漢方薬に使われていますよ！

*Foeniculum vulgare* Mill.

部位	果実
生薬名	茴香 (ウイキョウ) <b>局方収載</b>
成分	アネトール (フェニルプロパノイド)
薬理	芳香性健胃、鎮痛作用
薬能	温裏薬
漢方	安中散



地中海沿岸部原産で、雨の比較的少ない気候のために、葉が細く蒸散作用を減らす形状をしています。植物全体に独特の香りがあり、料理の世界ではフローレンスフェネルやフェネルシードの名前でスパイスとして、魚料理などによく使われています。薬用部位の果実は、双懸果と呼び、2個の果実がくっついてます。果実が成熟する頃に、もう一度足を運び、確認してみても如何でしょうか。ヨーロッパの植物ですが、シルクロードを通して中国にも導入され、安中散（〇〇漢方胃腸薬としても有名）などにも配合されています。また、チャイのようにウイキョウ（フェネル）入りのミルクティも身体を温め、リラックス効果も期待できると思います。



ウイキョウ

ムラサキ



ホームページでも  
ご覧いただけます